

(様式1)

※ 様式の枠は適宜広げてご使用ください。

記載例

令和4年度神奈川県商店街魅力アップ事業計画書

令和4年〇月〇日

神奈川県知事 殿

(申請者)
所在地 〒231-8588
横浜市中区日本大通1
団体名 かながわ商店会
代表者 会長 神奈川 太郎

神奈川県商店街魅力アップ事業費補助金交付要綱の規定に基づき、事業計画書を提出します。

事業名 ※該当するものに○を記載

- ①賑わい創出事業
②重点取組事業 (未病を改善する取組・共生社会の実現に向けた取組
買物弱者支援の取組・インバウンドへの取組)

「②重点取組事業」の場合は、
取組名に○を記載してください。

注)本申請書は必ず電子データで作成すること。

■該当する場合は、□にチェックを付けてください。

公益社団法人商連かながわに「(様式1-6)事業計画に係る推薦依頼書」を提出します。

■次の事項について同意します(□にチェックを付けてください)。

団体名、所在地及び取組に関する事項を神奈川県ホームページに公表すること

既定の経費割合(募集要項P1を参照)を満たさない場合、不採択となること

1 事業名及び実施地について

事業名(目的、内容がイメージできるような名称とすること)

※原則、3年間継続で計画となり、同事業名で実施して
いただくこととなりますのでご注意ください。

事業実施地(〇〇商店街等。事業を実施するエリアが分かるように地図を添付すること)

かながわ商店会

地図も併せて提出してください。

2 補助事業申請者について(名簿、組織図を添付すること)

■次の事項について、相違ありません。

構成員の過半数が県内中小企業者(県個人事業税又は法人県民税の対象となる事業者のうち
中小企業支援法(昭和38年法律第147号)第2条第1項第1号から第4号に規定する者)である

事業実施者名称	かながわ商店会
事業所等住所	横浜市中区日本大通1
代表者氏名(役職・氏名)	会長 神奈川 太郎
電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
ファクシミリ番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

名簿、組織図も併せて
提出してください。

担当者連絡先(事業実施の担当者に関する事項を記載すること)

所属	かながわ商店会
(フリガナ) 氏名	カナガワ ジロウ 神奈川 次郎
連絡先(電話番号)	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
連絡先(ファクシミリ番号)	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
連絡先(メールアドレス)	〇〇@〇〇.jp

3 商店街等の現在の状況(詳細に記入すること)

立地: ○○駅から徒歩○分に位置する商店会。平坦な道が続いており、来街者が来やすい場所となっている。会員店舗は点在しており、通りとなっていない。
客層: 子ども連れのファミリー層が多い。また、平坦な道が続いているため、高齢者も同様に多く来街している。
業種構成(割合): 飲食店が70%、物販店が10%、その他不動産屋やクリーニング店等がある。
商店街の強み: 配送を行ってる商店が複数あり、大型車両を保有する商店がある。アイデアは各店持っていてイベントに対しても前向きである。
地域住民のニーズ: A地区において特に高齢化が進んでおり、商店も少なく、交通の便も悪い(1日○便のバス運行)ため、買い物バスや配送等が望まれている。また、朝市等が数年前まで近隣で行われ、イベントに対するニーズもある。
商店街が抱える課題: 各店での取組を連携して実施できておらず、リソースの共有化ができていない。また周知に対する意識が低く、効果的な周知方法ができていない。

4 事業計画について

(1)内容(詳細に記入すること。)

※ 事業内容・実施体制・実施スケジュールについて、具体的に記載してください。事業内容については、抱える課題を踏まえ、必要性等を明確に記載してください。特にハード経費(什器備品費・施設整備関係費)はソフト事業を行う上で必要となる理由を明確にしてください。

各々の事業内容欄に賑わい創出事業として応募するものは(賑)、重点取組事業として応募するものは(重)と記載してください。両方にまたがる場合は、(賑)(重)と記載してください。(賑わい創出事業で応募する場合は不要です)。(重)としたものは、その事業が応募した事業区分の趣旨に沿うことを明確に記載してください。

重点取組事業で申請した場合は、事業毎に、賑わい創出事業に該当するものは(賑)、重点取組事業に該当するものは(重)、両方にまたがるものは(賑)(重)と記載してください。
(重)としたものは、その事業が申請した事業区分の趣旨に沿うことを明確に記載すること。募集要項(P4)の各事業区分の説明をご確認ください。
施設整備の日程は必ず詳細(工事着手日から完了日までについて)をご記載ください。県が中間検査として必要に応じ(着手前・施行中・完了後等)訪問します。

全体の概要・目的:

A地域の買物弱者支援を目的とし、買い物バスの常時運行と配送サービスを実施する。買い物の楽しさを知ってもらうため、○○イベントを実施し、イベントと買物弱者支援の開始をHPやチラシを用い、A地域を中心に広域に周知する。
当事業を実施し、強みである配送ルート・大型車両を活かしつつ、課題であるリソースの集約と周知方法の確立ができ、ニーズである買物弱者支援とイベントの実施が可能と考える。

事業内容①【(賑)(重)・(賑)(重) ※該当するものに○を記載】:巡回バスの改修:××…ハード整備が必要な理由:利用者に対し、来街時に利用可能な車両と認知させるため、既存の大型車両の外見に「○○商店街買い物バス」とわかるラッピングが必要
内容:○商店保有の車両にラッピングと内装の改装を実施。平日○回、土日△回巡回の運営

実施体制①:ラッピングの案や時刻表の作成は事務局、改修作業は業者○

実施スケジュール①:買い物バスのラッピング案の確定:8月 発注先確定:9月 改修作業:10月

事業内容②【(賑)(重)・(賑)(重) ※該当するものに○を記載】:

お買い上げ商品の宅配サービス構築※①と同様に記載

実施体制②:配送実施の担当にて構成された配送班と事務局にて構築案を作成後、運営は配送

実施スケジュール②:キックオフミーティング:7月 運用体制案作成:8月中旬 運営開始:11月

事業内容③【(賑)・(重)・(賑)(重) ※該当するものに○を記載】:

△△イベントの開催(目的・内容・手段・場所など記載。重点取組事業で申請の場合、申請した事業区分に合致している事がわかるように記載)×××地域住民を対象とした

実施体制③:事務局とアドバイザーにて企画を進め、運営は事務局と各商店担当で実施

実施スケジュール③:

業者選定:7月 企画案確定:8月中旬 運用体制確定・アルバイト募集:8月下旬

イベント実施:①○/○(○)○時~○時②…

事業内容④【(賑)・(重)・(賑)(重) ※該当するものに○を記載】:チラシ・ポスターでの取組の告知イベントの告知と巡回バス・配送サービスの開始について半分ずつのスペースで掲載

実施体制④:事務局に広報担当を設け、業者■と推進

実施スケジュール④:者確定:7月 広告内容:8月 広告①(チラシ):○/○(○) 広告②…

6 経費の配分

収入の部 (単位:円)

種類	内容	金額
補助金	県商店街魅力アップ事業費補助金	1,580,000
市補助金	〇〇市商店街補助金	500,000
自己負担	商店会費	481,550
借入金	銀行からの借り入れ	900,000
合計		3,461,550

[補助金の算出方法]
 ①賑わい創出事業 **事業費(税抜)**の「1/3」以内
 ②重点取組事業 **事業費(税抜)**の「1/2」以内
 ※補助金の上限は300万円です。
 ※1,000円未満は切捨てとなります。

[記載例での算出]
 重点取組事業での応募
 $3,160,500円 \times 1/2 = 1,580,250円$
 →補助額 **1,580,000円**

「経費の内訳」より下のセルを選択すると、「プルダウンメニュー」が表示されますので、選択してください。

支出の部 (単位:円)

費目	内容	金額(税抜)	消費税	合計	該当事業	事業区分	備考
輸送機器関係<ハード経費>	買い物バス車両へのラッピング	500,000	50,000	550,000	①	(重)	◆社による全面ラッピングプラン(資料添付)
輸送機器関係<ハード経費>	買い物バス内装変更(抗菌処理)	500,000	50,000	550,000	①	(重)	◆社による改装案(添付資料)
システム開発費	配送システム構築(△社)	700,000	70,000	770,000	②	(重)	ウェブによる配送管理システム(添付資料参照)
出演料	イベント出演者への出演料	100,000	10,000	110,000	③	(販)	△様:プログラム〇1h出演■円 〇様:プログラム◇1h出演◆円
賃金	イベント運用スタッフアルバイト料	150,000		150,000	③	(販)	15人×5,000円×2日(1日〇h)
消耗品費	イベント運営に必要な事務用品など	10,500	1,050	11,550	③	(販)	
委託費	イベント企画・運営費用(〇社)	300,000	30,000	330,000	③	(販)	
広告宣伝費	チラシ(A地域〇部×△回)	600,000	60,000	660,000	④	(販)(重)	①～③の内容を周知
広告宣伝費	HP告知費用	300,000	30,000	330,000	④	(販)(重)	①～③の内容を周知 内容・発注先については事業内容参照
合計		3,160,500	301,050	3,461,550			

重点取組事業で申請する場合、経費毎に該当する事業番号(事業内容で記入したものと)と事業区分(重点取組事業であれば(重)、賑わい創出事業であれば(販)、両方にまたがる場合は(販)(重))を選択してください。

特に専門家謝金・出演料・賃金と重点取組事業の経費は内容(単価・数量・時間を含む)を明確に記載してください。

対象外経費は記載しないでください

70%を超えると不採択となります。70%以内の申請内容となっているか確認してください

60%を下回ると不採択となります。60%以上の申請内容となっているか確認してください

ハード経費(什器備品費・施設整備関係費)の合計	1,000,000	全体に占める割合	31.6%
(重点取組事業を申請の場合)重点取組事業区分の合計	2,150,000	全体に占める割合	68.0%

※ 手動で計算してください。上記「支出の部」で「事業区分」が(販)の経費は「金額(税抜)」の全額を、(販)(重)の経費は「金額(税抜)」の1/2を加算してください。「4(1)内容」の記載並びに請求書等により明確に比率を分けることが可能な場合は、備考に比率を記載のうえ、「重点取組事業区分の合計」に加算してください。

※ して応募するものには(販)を、重点取組事業として応募するものには(重)を、両方にまたがる場合は(販)(重)を選択してください。

・重点取組事業区分の合計が補助対象経費全体の60%を下回る場合は不採択となりますので十分注意してください。(b)

・事業区分が賑わい創出事業とまたがる場合は、事業区分で(販)(重)を選択したうえで、その項目の1/2の金額を「重点取組事業区分の合計」に加算してください。ただし、「4(1)内容」の記載並びに請求書等により明確に比率を分けることが可能な場合は、備考に比率を記載のうえ、「重点取組事業区分の合計」に加算してください。

7 物件(賃借物件)について

※物件がある場合に記入してください。

※下記表に記入しきれない場合、または他に別件を説明するのに必要な項目がある際は、適宜対応すること

物件(施設)の状況

項目	内容
施設の種類	
内容	
数量	
単価(円)	
価格(円)	
性能又は寸度	
購入先	
設置場所	
面積(m ²)	
建築・製造業者	

物件(賃借物件)の状況

項目	内容
所在地及び面積	〇〇市〇〇町1-1〇〇m ²
賃貸人の住所及び氏名	〇〇市〇〇町1-2神奈川 花子
月額賃借料	〇〇〇〇円
店舗面積	〇〇m ²
賃貸借開始年月日	令和〇年〇月〇日
賃貸借満了年月日	令和〇年〇月〇日
事業実施図(位置図、設計図)	別紙参照
賃借物件の状況がわかる写真	別紙参照

※転借物件の場合は下記についても記載のこと

転貸人の住所及び氏名	〇〇市〇〇町1-3神奈川 三郎
月額転借料	〇〇〇〇円
転貸借開始年月日	令和〇年〇月〇日
転貸借満了年月日	令和〇年〇月〇日

8 3年後に実現する目標や活性化に至るプロセスを定める計画書

※前年度に採択された団体は記入不要

(1) 商店街等名: かながわ商店会

(2) 商店街等の目指す姿、3年後に実現する目標(事業実施前と比較できるように記入すること)

商店街等の目指す姿: 当商店会は〇〇〇〇といった課題を抱えており、〇〇〇〇といった地域住民からの声もある。この課題解決や地域住民からの声に応え、当商店会が〇〇〇〇といった姿になることを目指す。
3年後の歩行者通行量(数値目標): (事業実施前) 令和●年●月●日(●)●時●分～●時●分 9,500人 (目標) 11,400人(約20%増) ※曜日や時間帯は合わせるようにしてください。
3年後の売上高(年間)※万円単位(数値目標): (事業実施前) 76,000万円 (全会員150名のうち、100名を集計) (目標) 91,200万円 (約20%増)
商店街全体に対する効果について。会員や地域住民の満足度について等: アンケートの結果において、共に75%以上の満足度を達成する。

(3) 今後3年間で実施する主な事業

(2)で掲げた目標を実現できるような事業を計画すること。主な事業とスケジュールを記入すること

1年目: ①月次定例バーゲン時とイベント時の買い物バス運行(車両レンタル) ②商店会広場にて、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇(具体的に記載)イベントを実施(8月)
2年目: ①買い物バスの常時運営開始(11月)(車両改修10月) ②配送申請システムの構築(10月) ③〇〇イベントの拡大実施(12月) ④①～③の告知(11月)(HP作成11月上旬 チラシ配布12月初旬)
3年目: ①買い物バスの便数増加(8月) ②巡回販売の実施(2月) ③〇〇イベントの拡大実施(12月) ④①～③の告知(11月)(ウェブコンテンツ作成10月上旬 チラシ配布12月初旬)

(4) 事業の評価・検証

(3年後に実現する数値目標を、どのように測定し、評価・検証していくのか記入すること)

歩行者通行量: 商店会のメイン通りを観測地点に設定し、事業実施前後で同時間帯に測定を行う。
売上高: 事務局が各会員に聞き取り調査をし、金額を算出する。
地域住民の満足度等: 会員や来街者に対してアンケートを実施し、商店会に対する満足度を調査する。